

令和6年度 国語・書写 第2学年 年間指導計画

月	単元名	教材名【領域】	時数	学習目標	評価規準			学習指導要領
					知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体的に学習に取り組む態度	
4	豊かに想像する	名づけられた葉 【読む（詩）】	2	●詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 ●詩にこめられたものの見方を捉える。	類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	①「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知 技 （1） エ） （Cイ） （Cエ） （Cオ）
		セミロングホーム ルーム 【読む（小説）】 読み方を学ぼう① 人物設定	4	●人物の設定の仕方を捉え、表現や構成の工夫とその効果について考える。（Cア） ●作品を読んで考えたことを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする。（Cオ）	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。（2）イ）	①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ②「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで登場人物の設定の仕方などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知 技 （2） イ） （Cア） （Cイ） （Cエ） （Cオ）
		言葉発見① 敬語の意味と種類	1	●敬語のはたらきについて理解し、使う。	①言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。 ②話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 ③敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。		進んで敬語のはたらきについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技（1） ア） 知技（1） イ） 知技（1） カ）
		グループディスカッション 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める 【話す・聞く】	4	●互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。 ●相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	①「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 ②「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	積極的に互いの立場や考えを尊重しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。	知技（2） ア） （Aイ） （Aエ） （Aオ）

5		漢字を身につけよう ①	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字（350字～450字）を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技（(1)ウ） 知技（(1)エ）
6	わかりやすく伝える	読み方を学ぼう② 発展的な論の展開 じゃんけんは、なぜ グー・チョキ・パー の三種類なのか	1	●文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。	(※「人間は他の星に住むことができるのか」と合わせて評価する。)			(Cエ)
		人間は他の星に住むことができるのか 【読む（説明）】	4	●主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 ●文章を読み、構成や論理の展開とその効果について考える。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ②「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	進んで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。	知技（(2)ア） (Cア) (Cエ)
		手紙・メール 心をこめてわかりやすく書く 【書く】	4	●相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。 ●内容が正しくわかりやすく伝わるように、読み手の立場に立って読み返し、文章を整える。	敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使おうとしている。	①「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって伝えたいことを相手や媒体を考慮して書こうとしている。	知技（(1)カ） (Bイ) (Bエ)
		言葉発見② 言葉のはたらきとコミュニケーション	1	●言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。	①言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。 ②話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。		進んで言葉のもつ相手の行動を促すはたらきについて気づき、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技（(1)ア） 知技（(1)イ）

		漢字を身につけよう ②	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字（350字～450字）を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技（(1)ウ） 知技（(1)エ）
7	ものの見方・感性を養う	短歌の世界／短歌十首 【読む（解説／短歌）】 読み方を学ぼう③ 想像 コラム 音の数え方と句切れ	3	●短歌のリズムや表現方法などの特徴をもとに、短歌についての理解を深める。 ●情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	①「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	知技（(2)ア） （Cイ） （Cエ） （Cオ）
		短歌・俳句 表現の仕方を工夫して豊かに表す 【書く】	5	●情景や感動が伝わるように、表現を工夫して書く。 ●作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	①「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	粘り強く文章のよい点や改善点を見いだし、学習の見通しをもって短歌や俳句を創作しようとしている。	知技（(1)エ） （Bウ） （Bオ）
		文法の窓1 文法のまとめ 用言の活用	3	●用言の活用について理解する。	単語の活用について理解している。		進んで単語の活用について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技（(1)オ）
		壁に残された伝言 【読む（報告）】	3	●文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。	知技（(1)エ） （Cア） （Cエ） （Cオ）

9		私の読書体験 生涯の友と出会う 【読む】	2	●本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、読書をとおして自分の考えを広げたり深めたりする。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習したことを生かして本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用しようとしている。	知技 ((3)エ) (Cウ) (Cオ)
		漢字を身につけよう ③	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字(350字～450字)を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技 ((1)ウ) 知技 ((1)エ)
	論理的に考える	4 一〇〇年後の水を守る 【読む(評論)】 読み方を学ぼう④ 図表と文章	4	●文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。 ●文章を読んで理解したことと、知識や経験とを結びつけて、自分の考えを広げる。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	①「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで文章と図表などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。	知技 ((2)イ) (Cウ) (Cオ)
		言葉発見③ 上位語・下位語	1	●上位語・下位語の関係について理解を深める。	・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで抽象的な概念を表す語句の量を増し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技 ((1)エ)
		プレゼンテーション 資料や機器を活用して効果的に発表する	5	●社会生活の中から題材を探し、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ●話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決めている。 ②「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ③「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	・積極的に資料や機器を用い、学習の見通しをもって説明や提案しようとしている。	知技 ((2)ア) (Aア) (Aイ) (Aウ)

		漢字を身につけよう ④ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字（350字～450字）を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ウ) 知技((1)エ)
10	5 古典に学ぶ	枕草子・徒然草 【読む（古文）】	4	●自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ●古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。	①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	①「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((3)ア) 知技((3)イ) (Cエ) (Cオ)
		表現プラザ 私の「枕草子」「徒然草」 【書く】	2	●日常生活や社会生活の中から題材を決めて、伝えたいことを明確にする。 ●読み手の立場に立って、表現の効果を考えながら文章を整える。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	①「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。 ②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	・粘り強く伝えたいことが明確になるように工夫し、学習の見通しをもって感じたことを書こうとしている。	知技((1)エ) (Bア) (Bエ)
		平家物語 【読む（古文）】 読み方を学ぼう⑤ 物語の転換点 コラム あの人の歌	5	●語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。 ●場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えをもつ。	①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	①「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。 ②「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで文章の構成や論理の展開などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((3)ア) 知技((3)イ) (Cイ) (Cエ) (Cオ)

		漢詩の世界 【読む（漢文）】 漢文の読み方 漢詩の形式	3	●漢詩の表現やリズムを捉え、読みを味わう。 ●漢詩に描かれた情景を捉え、古人の心情を想像する。	①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	①「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで文章の構成や表現の効果について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合っている。	知技(3)ア) 知技(3)イ) (Cエ) (Cオ)
		漢字のしくみ1 熟語の構成・熟字訓	1	●熟語の構成・熟字訓について理解を深める。	①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字（350字～450字）を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで常用漢字を読み、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技(1)ウ) 知技(1)エ)
		漢字を身につけよう ⑤	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字（350字～450字）を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技(1)ウ) 知技(1)エ)
11	6 情報 を 関 係 づ け る	複数の情報を関連づけて 考えをまとめる 【情報】 共生社会に関するデータ 【読む（図表）】 自立とは 「依存先を増やすこと」 【読む（解説）】	5	●意見と根拠のなどの関係に注意して、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる。 ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。	①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ②情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	①「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 ②「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 ③「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。 ④「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。	知技(2)ア) 知技(2)イ) (Aオ) (Cイ) (Cウ) (Cオ)

		投稿文 情報を関連づけて 根拠を明確に示す 【書く】	4	●多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ●自分の意見と根拠を明確にして、説得力のある文章を書く。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	①「書くこと」において、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	・粘り強く材料を整理して伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって投稿文を書こうとしている。	知技((2)ア) (Bア) (Bオ)
		文法の窓2 文法のまとめ 助詞・助動詞のはたらき	3	●助詞・助動詞のはたらきや文の構成について理解する。	・助詞や助動詞などのはたらき、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。		進んで助詞や助動詞などのはたらきや文の構成について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)オ)
		漢字を身につけよう ⑥	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字(350字～450字)を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ウ) 知技((1)エ)
12	7 読みを深め合う	大阿蘇 【読む(詩)】	2	●詩の表現技法とその効果を理解し、描かれた情景を読み取る。 ●眼前に展開する自然の姿を捉え、想像豊かに朗読する。	・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	①「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((1)エ) (Cエ) (Cオ)
		言葉発見④ 類義語・対義語、多義語	1	●類義語・対義語、多義語について理解する。	・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで類義語と多義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)エ)

	小さな手袋 【読む（小説）】 読み方を学ぼう⑥ 象徴	4	●登場人物の人物像と相互関係を捉える。 ●主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ②「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	進んで登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((2)イ) (Cア) (Cイ)
	読書活動 ビブリオバトル 【話す・聞く】	2	●本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ●自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。	①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ②本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決めている。 ②「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。	・積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案しようとしている。	知技((2)ア) 知技((3)エ) (Aア) (Aイ)
	創作文 読みたくなるしくみを工夫する 【書く】	5	●作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開など工夫して書く。 ●作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	①「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって感じたことや想像したことを書こうとしている。	知技((1)エ) (Bイ) (Bオ)
	漢字を身につけよう ⑦	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字（350字～450字）を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ウ) 知技((1)エ)

1	8 視野を広げる	動物園でできること 【読む（評論）】 読み方を学ぼう⑦ 例示	4	●文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える。 ●動物園に関する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ②「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで主張と例示との関係などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((2)ア) (Cア) (Cエ) (Cオ)
		漢字のしくみ2 熟語の読み	1	●熟語の読みについて理解を深める。	①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字（350字～450字）を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで常用漢字を読み、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ウ) 知技((1)エ)
		論説文 構成を工夫して 考えを伝える 【書く】	5	●伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫して書く。 ●根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書く。	①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ②情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	①「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ②「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	知技((2)ア) 知技((2)イ) (Bイ) (Bウ)
		漢字を身につけよう ⑧	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字（350字～450字）を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ウ) 知技((1)エ)

2	9	走れメロス 【読む（小説）】 読み方を学ぼう⑧ 心内語	5	●人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。 ●工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	①「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ②「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで登場人物の表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技(2)ア) (Cイ) (Cエ) (Cオ)
		漢字を身につけよう⑨	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字(350字～450字)を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技(1)ウ) 知技(1)エ)
3		情報誌 地域の魅力を振り返って 【話す・聞く】 【書く】	8	●集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合っ て考えをまとめる。 ●地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章にまとめる。	①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ②情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	①「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ②「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 ③「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。 ④「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって情報誌を作ろうとしている。	知技(2)ア) 知技(2)イ) (Aア) (Aオ) (Bア) (Bエ)
		歌の言葉 365日の紙飛行機						

第2学年 書写

月	単元名	時 数	単元目標	評価規準			学習指導要領
				知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体的に学習に 取り組む態度	
4	2. 読みやすく速く書くための行書						
5	点画の省略	3	漢字の行書の書き方（点画の省略）を理解して、読みやすく速く書くことができる。	漢字の行書の書き方（点画の省略）を理解して、読みやすく速く書いている。	毛筆で「雲海」を書くなかで、行書の書き方＜点画の省略＞を確かめている。	進んで①行書の書き方(点画の省略)を理解し③, 学習課題に沿って②「雲海」を書こうとしている④。	知技((3)ウ(7)) 知技((1)ウ)
	筆順の変化	3	漢字の行書の書き方（筆順の変化）を理解して、読みやすく速く書くことができる。	漢字の行書の書き方（筆順の変化）を理解して、読みやすく速く書いている。	毛筆で「紅花」を書くなかで、行書の書き方＜筆順の変化＞を確かめている。	進んで①行書の書き方(筆順の変化)を理解し③, 学習課題に沿って②「紅花」を書こうとしている④。	知技((3)ウ(7)) 知技((1)ウ)
6 7	行書に調和する仮名（い）	3	行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。	行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	小筆で「いろは歌」を書くなかで、行書に調和した仮名の書き方を確かめている。	進んで①行書に調和した仮名の書き方を理解し③, 学習課題に沿って②「いろは歌」を書こうとしている④。	知技((3)ア) 知技((3)ウ(7))
9	行書と仮名の調和	3	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	毛筆で「豊かな心」「深まる秋」を書くなかで、行書に仮名を調和させるための書き方を確かめている。	進んで①行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し③, 学習課題に沿って②「豊かな心」「深まる秋」を書こうとしている④。	知技((3)ウ(7)) 知技((1)ウ)
10	〔国語・学校生活〕 行書を活用しよう	1	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	行書で本の帯やノートなどを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	進んで①習得した知識・技能を振り返り③, 今までの学習を生かして②本の帯やノートなどを書こうとしている④。	知技((3)ウ(7)) 知技((3)ウ(1)) 知技((1)ウ) B (1)全

	〔国語〕 壁新聞を作ろう	2	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	壁新聞を作る活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	進んで①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②壁新聞を作ろうとしている④。	知技(3)ウ(イ) 知技(1)ウ(B(1)全)
11	3. 文字を使い分ける						
	〔やってみよう〕 「デザインと文字」を考えよう	1	目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を理解することができる。	目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を理解している。	テレビ番組のタイトル文字を選ぶ活動のなかで、目的や必要に応じて文字を選んで書くことの意義を確かめている。	進んで①テレビ番組のタイトル文字を選び③、学習課題に沿って②①～④それぞれの印象や文字を選んだ理由を話し合おうとしている④。	知技(3)ウ(イ)
	楷書と行書の使い分け	2	目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。	目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。	インタビューメモや入学願書を書く活動のなかで、目的や必要に応じて書体を選択して書くことの必要性を確かめている。	進んで①書体を選択して書く必要性を理解し③、学習課題に沿って②適切な書体を選んで書こうとしている④。	知技(3)ウ(イ) 知技(1)ウ(A(1)オ) (A(2)イ)
12	〔コラム〕 物語を千年書き継ぐ (源氏物語)	1	書くことで物語を後世に伝えてきた文字の役割を理解し、書写学習への関心を高めることができる。	文字の役割について理解している。	「源氏物語」の変遷を確かめるなかで、文字の役割について考えている。	進んで①「源氏物語」の変遷を確かめ③、学習の見通しをもって②文字の役割について話し合おうとしている④。	知技(3)ア 知技(3)ウ(ア)
1 2 3	〔国語〕 季節のしおり 2	1	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②季節の言葉をなぞろうとしている④。	知技(3)ア 知技(3)ウ(ア) 知技(1)ウ